



関東地方ESD活動支援センター 防災講習会

令和6年10月27日

柏市危機管理部防災安全課



本日のメニュー



- 1 柏市での災害
- 2 柏市の被害想定
- 3 柏市の防災対策
- 4 社会福祉施設等の業務継続計画（BCP）



1 柏市での災害

災害とは？



地震(じしん)



台風(たいふう)



洪水(こうずい)



土砂(どしゃ)



津波(つなみ)



雷(かみなり)



竜巻(たつまき)



雪(ゆき)

令和5年9月20日 大雨（篠籠田）



令和元年度台風19号 10月14日午前時点 (田中調整池)





2 柏市の被害想定

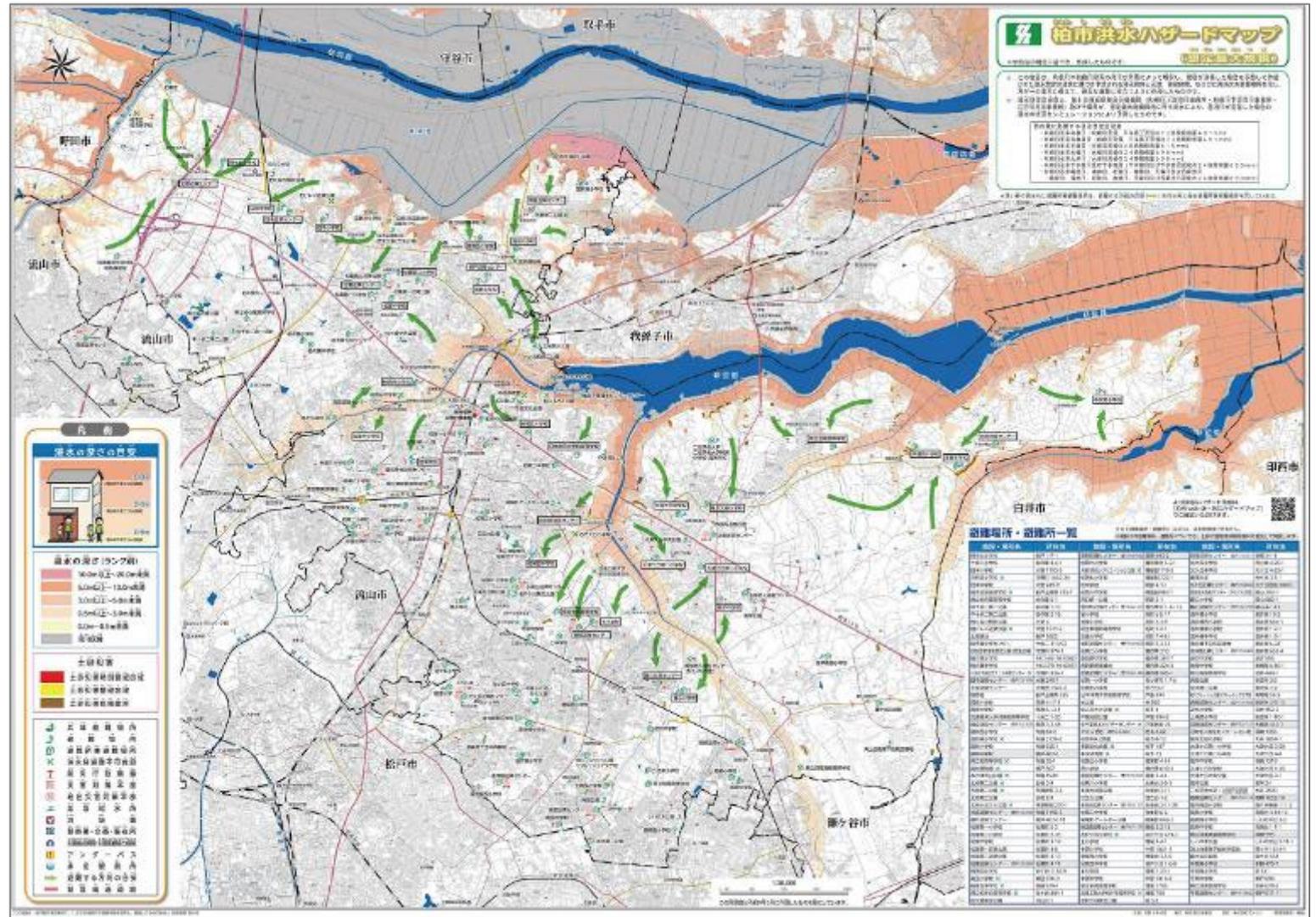
被害想定（風水害）

■ ハザードマップ

柏市では、水防法に基づき、「柏市洪水ハザードマップ」を作成しています。

利根川や大堀川、大津川、手賀沼などが、想定最大規模の降雨に伴う洪水により、氾濫した場合の浸水状況を予測したものです。

また、上下水道局経営企画課が作成する「柏市内水ハザードマップ」では、大雨等により下水道などの排水施設の処理能力を超え浸水する範囲等を想定し、示しています。



被害想定（風水害）

■ web版ハザードマップ（内水）



被害想定（土砂災害）

■ 土砂災害警戒区域

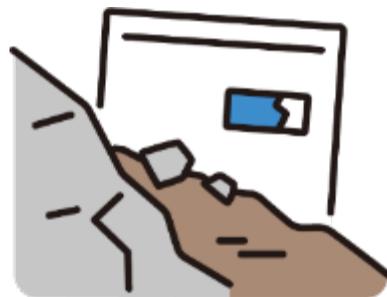
傾斜度30度以上かつ高さ5m以上の急傾斜地で、崩壊した場合に市民に危害が生じる恐れのある区域。

市内に 8 9 箇所

■ 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れのある区域。

市内に 8 2 箇所





3 柏市の防災体制

避難場所・避難所

■ 避難場所

 指定緊急避難場所 **143箇所** ※洪水は122箇所
(学校, 公園等)

 広域避難場所 **4箇所**
(日立台, 柏の葉, 中原, 大堀川)

■ 避難所

 指定避難所兼避難場所 **109箇所** ※洪水は98箇所
(学校・近隣センター等)

市内のどの避難所に避難しても構いません。
(地域によっては事前に避難所を目安として定めている場合もあります)

■ 避難所の開設基準

震災

- ・ 震度5強以上を観測した場合
- ・ 災害の状況により避難が必要な場合

風水害

< 自主避難所 >

- ・ 台風の暴風域が24時間以内にかかると予想されるとき
- ・ 強風注意報が発表され警報に切り替える可能性が高いとき等
→ 基本的に市内20近隣センターを開設する

< 指定避難所 >

- ・ 避難情報の発令又は警戒区域の設定を実施した場合
- ・ 災害の状況により避難が必要な場合等

■ 防災備蓄倉庫

公共施設

小中学校

その他公園など

計 43箇所

⇒ 21コミュニティエリア単位に整備

市で備蓄する物資を分散して配置。
発災時は各避難所等に必要に応じて
供給。



■ 備蓄物資

令和6年3月現在

種別	品目	目標数	実績数
食糧	保存食	400,000食（発災から3日後までの避難者に必要な数）	348,897食
飲料水	保存水（500ml）	20,000本（避難所×200本）	31,800本
資機材	毛布	40,000枚（発災から3日後までの避難所避難者に必要な数）	38,327枚
	仮設トイレ	300台（避難所×3台）	300台
	簡易トイレ	1,300台（避難所×13台）	2,594台
	非常用トイレ袋	433,179枚（発災から3日後までの避難者に必要な数）	433,214枚
	発電機	200台（避難所×2台）	318台
	投光器	100台（避難所×1台）	156台
	簡易更衣室	200台（避難所×2台）	209台
	間仕切り	3,000組（避難所×30組）	4,555個
	生理用品	145,842枚（発災から3日後までの避難所避難者に必要な数）	123,440枚

■ 各避難所備蓄物資

品目	備蓄数	品目	備蓄数
① 保存食	200枚	⑪ ソーラーパネル付き蓄電池	4台
② 保存水（500ml）	264本	⑫ ヘルメット	2個
③ 毛布	200枚	⑬ 授乳ケープ	2個
④ 非常用トイレ袋	200枚	⑭ 避難所運営グッズ	1セット
⑤ 間仕切りパーティション	20張		
⑥ パーティション用屋根	10張		
⑦ 多目的ベッド	20台		
⑧ 発電機	1台		
⑨ 投光器	1台		
⑩ ガソリン携行缶	1個		



防災備蓄体制



おかゆ



ビスケット



パン



保存水

防災備蓄体制



投光器



発電機



毛布



非常用トイレ袋

防災備蓄体制

屋根



多目的ベッド



パーティション



ソーラーパネル付き蓄電池



■ 各避難所備蓄物資

避難所運営(初動対応)グッズの内容

① 両サイドマジック(黒)	2本	⑨ 画鋏	1箱	⑰ タオル	20枚
② 両サイドマジック(赤)	2本	⑩ ラジオ(手回し充電)	1台	⑱ 簡易バケツ	2個
③ 事務用鉛筆	1ダース	⑪ コップろうそく	10個	⑲ タップ	1個
④ 鉛筆削り	1台	⑫ 簡易ライト	3本×5 セット	⑳ 避難所開設・運営 マニュアル及び様式	
⑤ セロハンテープ	2個	⑬ ポリ袋(90L)	10枚×3袋	㉑ 搬入物内訳書	1枚
⑥ 布粘着テープ	10巻	⑭ ソーラー電池式ランタン	2個	㉒ 蓋付き透明コンテナ	1箱
⑦ 事務用ハサミ	2個	⑮ マグネットシート	1枚	㉓ 携帯充電用マルチコ ネクター	1個
⑧ P P C用紙(A4)	1冊	⑯ メガホン	3本	㉔ ゲルチョコーク	2本

防災備蓄体制



■ 各避難所備蓄物資

避難所運営(初動対応)グッズの内容

②⑤	マスク	100枚	③①	ハンドソープ(250ml)	4本
②⑥	手指消毒液(500ml)	4本	③②	次亜塩素酸書毒液(600ml)	1本
②⑦	非接触型温度計	2本	③③	ペーパータオル(200枚)	20個
②⑧	接触型体温計	1本	③④	使い捨て手袋(100枚)	9箱
②⑨	フェイスシールド	45枚	③⑤	透明ビニールシート(1m)	5枚
③⑩	除菌シート(25枚)	100個			

防災備蓄体制



給水体制

■ 飲料水

災害用井戸 **17**箇所
耐震性貯水槽 **8**箇所



■ 生活用水

災害用簡易井戸 **23**箇所



■ 防災行政無線



防災行政無線 **190** 箇所

フリーダイヤルで確認できます！
0120-280-131

関係機関等との無線 **300** 台

市役所出先機関，災害拠点病院，
警察，消防，協力機関等

災害情報の取得方法

■ 気象・地震情報配信サービス

- ・かしわメール配信サービス
- ・柏市公式LINE
- ・柏市公式X（旧Twitter）
- ・柏市ホームページ

■ 災害時の情報

- ・テレビ（J：COM・チバテレビ）、ラジオ（bay FM78）
- ・エリアメール（Lアラート）

■ 防災行政無線放送内容確認

- ・柏市ホームページ
- ・かしわメール配信サービス
- ・音声案内サービス TEL0120-280-131

■ 気象庁の情報

- ・気象庁キキクル

災害に関する情報を
入手しましょう！

■ Yahoo! 防災速報アプリ



Yahoo! 防災速報アプリ

- 緊急地震速報や気象警報などさまざまな情報に対応
- 現在地と国内3地点まで設定可能 など

災害情報の取得方法（平時）

■ 柏市地域別防災カルテ

様式2(地域の概況)

地域名：増尾

地域番号：13

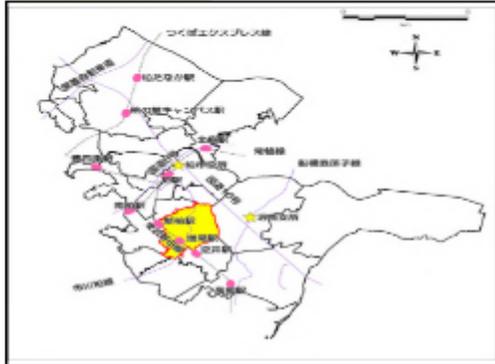
地域の概況

【対象町名】海甲台町二丁目、加賀一〜三丁目、新柏一〜四丁目、名戸ヶ谷、名戸ヶ谷一丁目、増尾、増尾一〜八丁目、増尾台一四丁目、中原、中原一丁目、足井一〜三丁目、兼定井 丁目

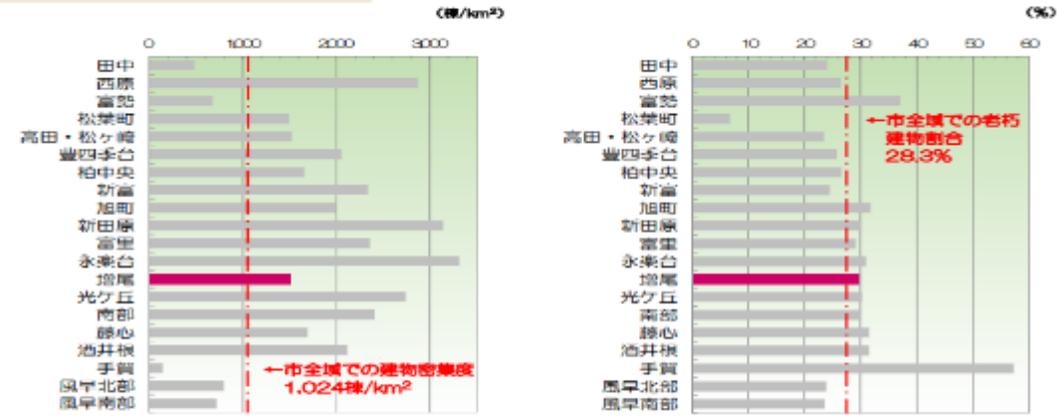
概要

【位置】市の中南部に位置し、地域の東部には大津川が流れている。
 【地形・土地利用】地域の面積が4.78km²と、広さは市内で6番目である。地域全体の約50%が住宅用地となっている一方、緑地や森林等の自然的土地利用の割合も他地域と比べて高い。地域内には多くの小中高等学校が立地しており、また、広大な敷地を持つ増尾緑地公園が立地している。地域東部の大津川周辺の地区は市街化調整区域とされ緑地が広がっている。地域東部には砂礫台地及び岩石台地が、地域の南〜南西部には、三角州や谷所平野などの水はけの悪い地帯が分布している。
 【交通】地域の西部には東武野田線が通っており、新柏駅と増尾駅が立地している。地域の中央を縦断するよう、主要地方道市川柏線が通っている。
 【人口】市平均と比較して人口密度は高く、老年人口割合は大きく、若年人口割合は小さい。人口推計によると、将来にわたり、人口減少及び高齢化の進行が見込まれている。
 【建物】建物の密集度合いは1,509棟/km²と、市全体の平均と比べ高い。新築基準を満たさない老朽建物割合は29.7%と、市全体の平均と比べ大きい。

地区の位置



建物密集度と老朽建物割合



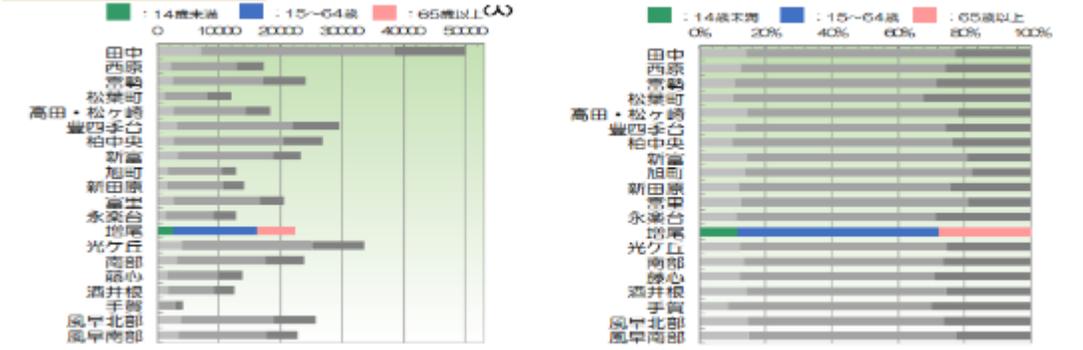
基本指標

	地域内		市全域
人口	22,241 人	100%	420,028 人
(内訳)			
14歳未満*	2,643 人	11.9%	54,459 人
15~64歳*	13,400 人	60.3%	263,199 人
65歳以上*	6,197 人	27.9%	102,371 人
世帯数	9,685 世帯		189,088 世帯
世帯当り人口	2.30 人		2.22 人
面積	4.78 km ²		114.70 km ²
人口密度	4,650 人/km ²		3,662 人/km ²

建物指標

	構造	建築年	地域内	市全域
構造・建築年別建物棟数	木造	~1980年	1,840 棟	28,475 棟
		1981年~	4,043 棟	68,149 棟
		小計	5,883 棟	96,624 棟
非木造	~1981年	304 棟	4,775 棟	
	1982年~	1,033 棟	16,046 棟	
	小計	1,337 棟	20,821 棟	
	合計		7,219 棟	117,445 棟
	建物密集度		1,509 棟/km ²	1,024 棟/km ²
	老朽建物割合*		29.7 %	28.3 %

年齢別人口と割合



避難施設のあらまし

避難所		災害により住居が被害を受けた住民の皆さんを受け入れ、宿泊・給食などの救援を実施する臨時の施設で、被害の状況により開設する避難所を決定します。
避難場所		災害発生時に、学校・公園等のオープンスペースや施設を利用し、住民の皆さんが生命や安全の確保を図るために避難する場所です。
広域避難場所		一時避難場所での災害状況の情報から判断し、避難する最終的な避難場所です。これらの避難場所では、情報活動、救援・救護活動が行われます。

避難施設一覧

種別	施設	災害ごとの避難可否					避難所としての収容人数[人]	避難場所としての収容人数[人]
		洪水	土砂災害	地震	大火事	内水氾濫		
遊覧所兼避難場所	名戸ヶ谷小学校	×	○	○	○	○	131	6,744
	土小学校	○	○	○	○	○	125	2,698
	中原小学校	○	○	○	○	○	129	5,032
	増尾西小学校	○	○	○	○	○	135	3,599
	土中学校	○	○	○	○	○		257
避難場所	中原中学校							41
	原立柏南高等学校							11
避難場所	増尾近隣センター							1
	茨城県工業大学柏中学校							10
避難場所	名戸ヶ谷第五公園							0

柏市HPよりご確認ください！

※モロ欄 わが家の避難所は、【 】 わが家の避難場所は、【 】

■ 「ペット避難受入れに関するガイドライン」の策定

柏市では、過去の大規模災害時に、ペットとの避難を躊躇したことで被災した飼い主もいたことから、ペット受入れ体制の強化を図っています。そのため、避難所におけるペット受入れに関する取組みが平常時から円滑に進められるよう「ペット避難受入れに関するガイドライン」を策定し、令和5年9月1日より運用を開始しました。

■ 屋内避難

ペットの飼育スペースを避難所の屋内に設置すること。
※飼い主とペットが同室で避難生活を送ることを意味するものではありません。

■ ペットの定義

犬や猫、ハムスターや小鳥などの「小型の哺乳類及び鳥類」

■ 東葛地域獣医師会との協定締結

市内で大規模災害が発生した際に、専門的な立場から被災動物の救護活動に対する協力を受けるために、令和5年9月30日に締結。





4 社会福祉施設等の 業務継続計画（BCP）

社会福祉施設等における業務継続計画（BCP）の策定義務化

社会福祉施設等においては、災害や感染症などが発生した場合であっても、利用者に対して必要なサービスを安定的・継続的に提供を維持していくことが求められており、事業の継続には、業務継続計画（BCP）の策定が有効とされています。

- ・業務継続計画とは、「平常時の対応」「緊急時の対応」の検討を通して、
①事業活動レベルの落ち込みを小さくし、②復旧に要する時間を短くすることを目的に作成されるべき計画書です。
- ・当該計画等の策定、研修の実施、訓練の実施等が令和6年度より義務付けられました（令和5年度までは努力義務）。

<要点>

- ・策定に加えて、研修や訓練（シミュレーション）の実施も義務付け
- ・感染症及び自然災害それぞれに対応する内容であること（一体的に作成も可）

社会福祉施設等における業務継続計画（BCP）の策定義務化

■災害にかかると業務継続計画の記載項目

- ・ 平常時の対応（建物・設備の安全対策、電気・水道等のライフラインが停止した場合の対策、必要品の備蓄等）
 - ・ 緊急時の対応（業務継続計画発動基準、対応体制等）
 - ・ 他施設及び地域との連携
- ※感染症と災害の計画を一体的に作成することも可

■研修及び訓練の実施

- ・ 研修および訓練（シミュレーション）は、定期的（年1回以上）に実施すること（実施内容を記録）
- ・ 訓練では、業務継続計画に基づき、事業所内の役割分担の確認や、感染症や災害が発生した場合に実践するケアの演習などを行うこと

社会福祉施設等における業務継続計画（BCP）の策定義務化

厚生労働省ホームページにおいて策定作業に必要な情報が分かりやすくまとめられていますので、積極的にご活用ください。

- ・ 介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00002.html

- ・ 障害福祉サービス事業所等における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00003.html





ご清聴ありがとうございました！